

1 活動名 地方議員研究会「質問づくりの基礎」「1人会派、少数会派での戦い方」

2 調査の目的

(1) 調査の必要性

多くの地方議員に対して研修を行っている講師から直接受講することが重要である。

(2) 調査項目

・質問に必要な基本的事項と考え方 ・無所属のデメリット打開方法

3 調査地選定理由

(1) 京都市議としての経験をもとに多数の講演をしている講師から直接話を聞くことができるため。

4 調査結果

(1) 令和6年11月15日

(2) 出席者 1名 和久井悟

(3) 成果・所感

・質問づくりの基礎

質問をするだけであれば窓口で十分である。議員として「何のために質問をするのか」「その質問をすることで何がかわるのか」という観点を持つということを改めて重要であると認識できた研修であった。講師が元京都市議ということもあり、兵庫県明石市や大阪府寝屋川市など関西の自治体の取り組みを例に挙げながら、質問づくりのための視点、質問後の行動などについて学ぶことができ、今後活用できる多くの学びを得ることができた。

・1人会派、少数会派での戦い方

決算特別委員会や議員運営委員会に入ることができないという無所属議員のデメリットをいかにカバーするのかという話を聞くことができ、そのための具体的な行動指針を知ることができたため、大変有意義な研修であった。制限も多い中で、まずは1人でもできることを確実に実行していく必要がある。

5 政務活動費

(1) 使途項目 研究研修費

(2) 支出額 30,000円(受講料)

その他交通費等は「調査旅費」から支出